



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 30 年第 37 週 (9/10~9/16) 【概要版】

平成 30(2018)年 9 月 21 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 報告が多かった疾患は、感染性胃腸炎です。過去 5 年の同時期と比べて多く報告されています。
- (2) RS ウイルス感染症は、過去 5 年の同時期と比べて多く報告され、36 週に今シーズンで初めて定点あたり報告数が「1.00」を超えました。近隣府県では本県よりも高い値で推移しています。
- (3) 県内において、風しんが 2 件届出されました。1 歳児と小学校入学前 1 年間の幼児に対する定期接種と併せて、滋賀県で実施している妊娠を希望する女性およびそのパートナー等に対する抗体検査(無料)をご検討ください。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu/huusin/huusinkoutaikensa.html>

2. 報告数が多かった定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	3.72	2.38	3.09		○		↑	↑		多	多	多	多
手足口病	1.38	1.13	0.97				↑			多	↑		多
ヘルパンギーナ	1.25	1.06	0.88		○		↑			多			警

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	<u>3.72</u>	2.38	<u>3.67</u>	<u>3.62</u>	<u>3.95</u>	<u>2.68</u>	<u>4.02</u>
手足口病	1.13	1.13	0.72	0.92	0.68	0.43	0.55
ヘルパンギーナ	<u>1.66</u>	1.06	<u>1.47</u>	0.71	1.05	<u>1.11</u>	2.30
RSウイルス感染症	<u>2.39</u>	1.00	<u>3.49</u>	<u>2.35</u>	<u>2.86</u>	<u>1.96</u>	<u>3.34</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	4	7	6			3			1	2		
五類	後天性免疫不全症候群	0	0	1							1		
五類	梅毒	0	2	1	○		1						
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	0	1				1					
五類	百日咳	7	2	3	-	-	3						
五類	風しん	0	0	2	○		1		1				

- i. 定点把握疾患: 人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 30 年第 37 週 (9/10~9/16) 【詳細版】

平成 30(2018)年 9 月 21 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- 報告が多かった疾患は、感染性胃腸炎です。過去 5 年の同時期と比べて多く報告されています。
- RS ウイルス感染症は、過去 5 年の同時期と比べて多く報告され、36 週に今シーズンで初めて定点あたり報告数が「1.00」を超えました。近隣府県では本県よりも高い値で推移しています。
- 県内において、風しんが 2 件届出されました。1 歳児と小学校入学前 1 年間の幼児に対する定期接種と併せて、滋賀県で実施している妊娠を希望する女性およびそのパートナー等に対する抗体検査(無料)をご検討ください。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu/huusin/huusinkoutaikensa.html>

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値					
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江		彦 根	長 浜	高 島	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.07	30	10	10
	RSウイルス感染症	0.44	1.00	0.75		○		0.86	0.83	0	2.20	0.25	0	0.50	2.39	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.13	0.03	0.09				0.14	0.17	0.25	0	0	0	0	0.33	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.50	0.28				0.14	0.17	0	0.20	0.25	0.75	1.00	1.32	8	4	—
	感染性胃腸炎	3.72	2.38	3.09		○		2.43	1.33	0.50	3.60	3.25	5.75	9.00	3.72	20	12	—
	水痘	0.25	0.47	0.28				0.71	0	0	0.40	0	0.50	0	0.22	2	1	1
	手足口病	1.38	1.13	0.97				0.71	0.83	0.25	2.80	0.75	0.25	1.00	1.13	5	2	—
	伝染性紅斑	0	0.06	0				0	0	0	0	0	0	0	0.34	2	1	—
	突発性発しん	0.34	0.25	0.16				0.29	0.17	0.25	0	0.25	0	0	0.49	—	—	—
	ヘルパンギーナ	1.25	1.06	0.88		○		0.86	0.17	0	1.00	0	4.00	0	1.66	6	2	—
流行性耳下腺炎	0.22	0.09	0.03				0	0	0	0.20	0	0	0	0.12	6	2	3	
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0.38	0.50	0.38		○		0.50	1.00	1.00	0	0	0	0	0.94	8	4	—
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0.14	0	0.14		○	○	0	0	0	1.00	0	0	0.01	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	0.14	0	0				0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.23	—	—	—	
	クラミジア肺炎(オウム病)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—	

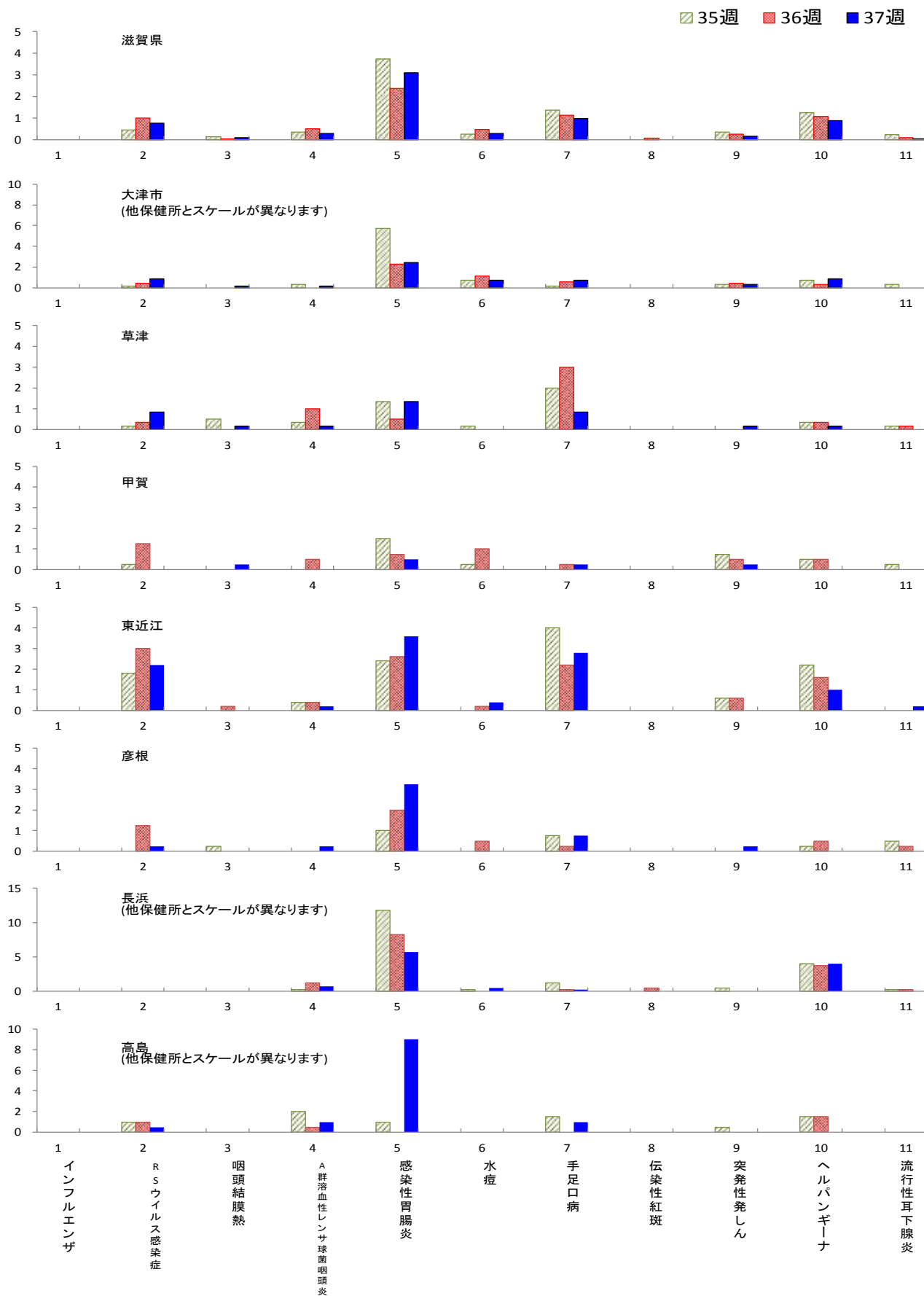
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週、縦軸:定点当たり報告数)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大津市保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

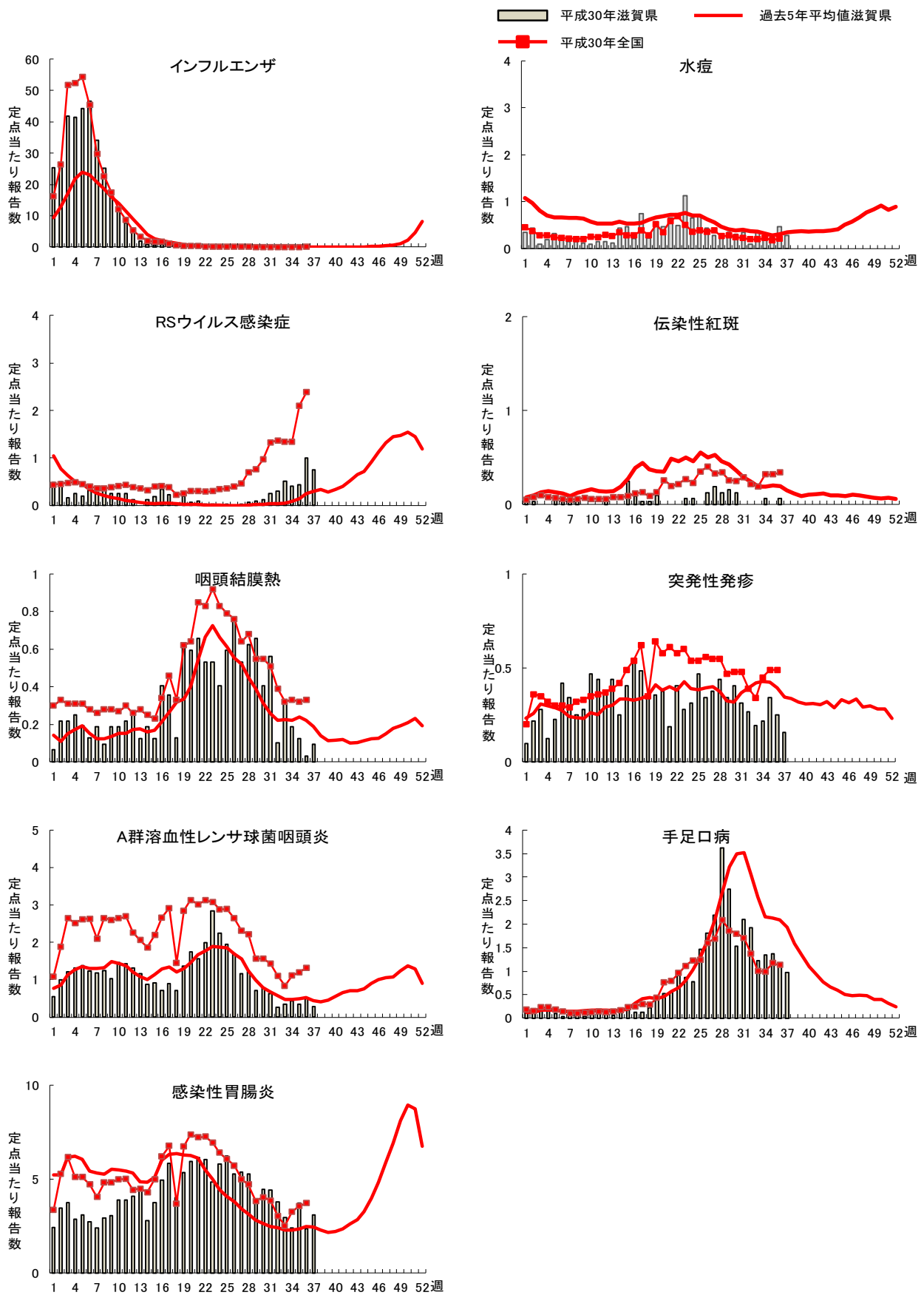
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	24	6	4	12	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	3	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	-	-	1	2	1	4	1	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	99	2	6	14	11	14	10	10	1	4	5	3	6	1	12
水痘	9	-	-	-	1	2	2	1	-	-	1	-	2	-	-
手足口病	31	-	-	11	7	5	3	4	-	-	1	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	-	1	8	7	3	4	3	-	-	1	-	1	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-

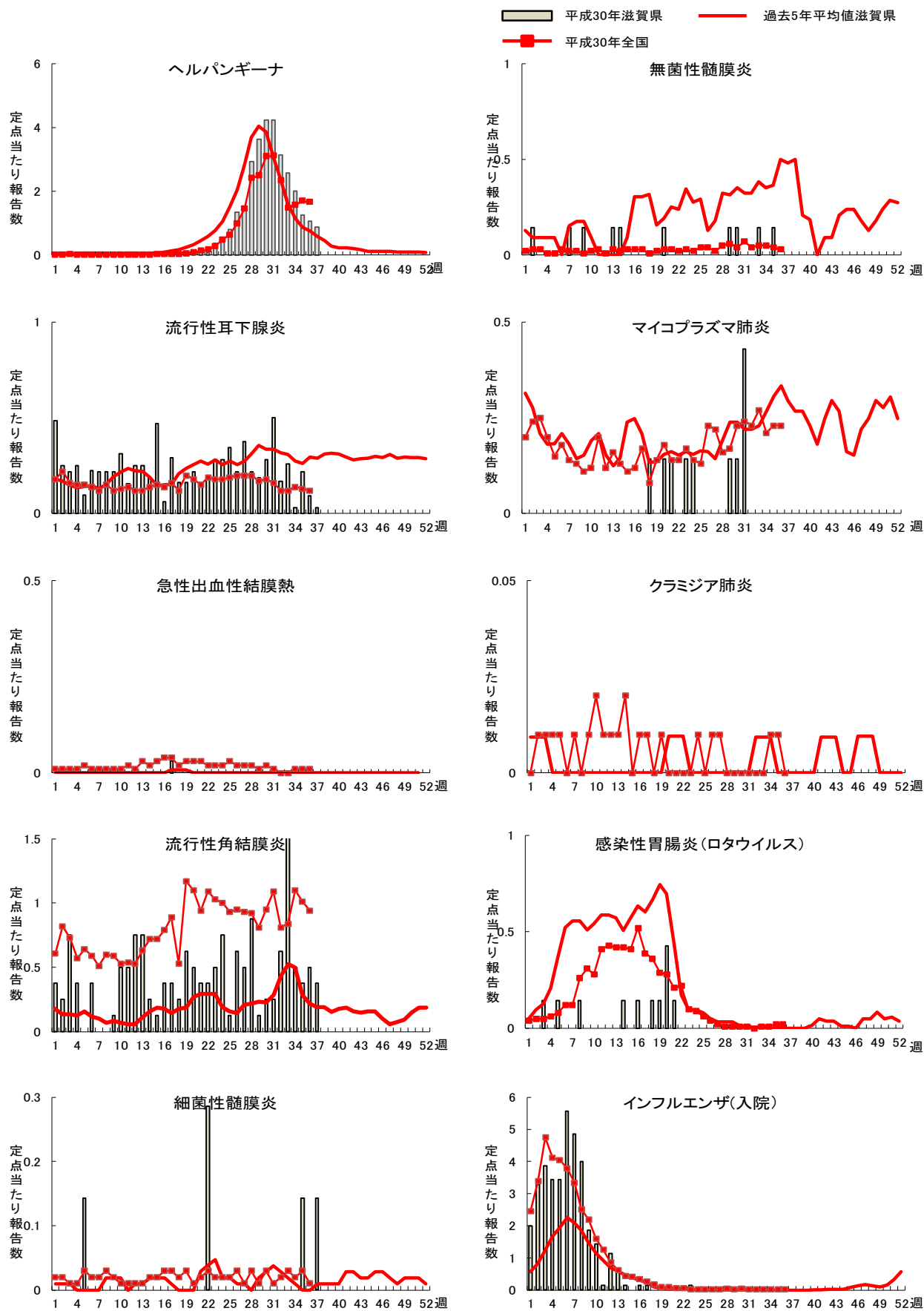
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	37	大津市	90歳代	女	肺結核	-	-
	結核	37	大津市	80歳代	女	肺結核	-	-
	結核	37	大津市	90歳代	男	結核性胸膜炎	-	-
	結核	37	東近江	90歳代	女	肺結核	東近江保健所管内	-
	結核	37	彦根	70歳代	女	肺結核	-	-
	結核	37	彦根	20歳代	女	肺結核	彦根保健所管内	-
五類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	37	草津	50歳代	男	-	草津保健所管内	<i>E.cloacae</i>
	後天性免疫不全症候群	37	彦根	50歳代	女	無症候キャリア	国内	異性間性的接触
	梅毒	37	大津市	60歳代	男	無症状病原体保有者	県内	感染経路不明
	梅毒	36	長浜	70歳代	男	無症状病原体保有者	長浜保健所管内	感染経路不明
	百日咳	37	大津市	10歳代	女	-	国内	DPT4回接種、小学生
	百日咳	37	大津市	10歳未満	男	-	大津市保健所管内	DPT4回接種、小学生
	百日咳	37	大津市	50歳代	女	-	県内	ワクチン接種歴不明
	風しん	37	大津市	40歳代	男	検査診断例	県外	ワクチン接種歴不明
	風しん	37	甲賀	50歳代	女	検査診断例	-	ワクチン接種歴不明

注目すべき感染症

1. 感染性胃腸炎 (国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>
2. RS ウイルス感染症 (国立感染症研究所)
<http://www.niid.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/317-rs-intro.html>
3. 風しん
 - (1) 風しん患者の発生について (滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/eh00/20180914.html>
 - (2) 首都圏における風疹急増に関する緊急情報: 2018年9月19日 (国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/180912/rubella180912.pdf>
 - (3) 風しん抗体検査について (滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課)
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/imuyakumu/huusin/huusinkoutaikensa.html>
4. 百日咳の患者が増加しています (本年 2 回目) 大津市健康保険部保健所保健予防課
http://www.city.otsu.lg.jp/hokenjo/hokenjo_news/1531209985162.html

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 30 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県		保健所別累積報告数								全国(前週)		昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	滋賀県	全国		
二類 結核			168 11.89	70 20.52	37 10.90	9 6.24	18 7.87	14 8.97	13 8.40	7 14.39	14725 11.61	251 17.76	22806 17.97	
三類 細菌性赤痢			0	0	0	0	0	0	0	0	114	0	141	
腸管出血性大腸菌感染症			20 1.42	5 1.47	3 0.88	0	8 3.50	1 0.64	1 0.65	2 4.11	2835 2.24	41 2.90	3890 3.06	
四類 E型肝炎	○		1 0.07	0	0	0	1 0.44	0	0	0	302 0.24	0	303 0.24	
四類 A型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	724	5	282	
重症熱性血小板減少症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	90	
チクングニア熱			0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5	
つつが虫病			0	0	0	0	0	0	0	0	98	1	439	
デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	119	0	245	
日本紅斑熱			0	0	0	0	0	0	0	0	174	0	337	
レジオネラ症	○		20 1.42	1 0.29	3 0.88	2 1.39	3 1.31	7 4.49	4 2.58	0	1306 1.03	20 1.42	1722 1.36	
五類 アメーバ赤痢			4 0.28	1 0.29	2 0.59	0	0	0	1 0.65	0	568 0.45	8 0.57	1077 0.85	
ウイルス性肝炎			1 0.07	0	1 0.29	0	0	0	0	0	155 0.12	4 0.28	289 0.23	
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	○		8 0.57	3 0.88	2 0.59	0	3 1.31	0	0	0	1357 1.07	13 0.92	1634 1.29	
急性脳炎	○		3 0.21	1 0.29	2 0.59	0	0	0	0	0	495 0.39	4 0.28	688 0.54	
クロイツフェルト・ヤコブ病	○	○	6 0.42	4 1.17	0	0	0	0	2 1.29	0	145 0.11	2 0.14	198 0.16	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			6 0.42	3 0.88	1 0.29	0	1 0.44	0	1 0.65	0	494 0.39	15 1.06	573 0.45	
後天性免疫不全症候群			5 0.35	2 0.59	0	1 0.69	0	2 1.28	0	0	896 0.71	10 0.71	1374 1.08	
ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	54	1	60	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	○	5 0.35	0	2 0.59	0	2 0.87	0	1 0.65	0	340 0.27	3 0.21	370 0.29	
侵襲性肺炎球菌感染症	○		28 1.98	11 3.22	2 0.59	3 2.08	3 1.31	2 1.28	7 4.52	0	2351 1.85	47 3.33	3145 2.48	
水痘(入院例)	○	○	4 0.28	4 1.17	0	0	0	0	0	0	301 0.24	4 0.28	309 0.24	
梅毒	○		11 0.78	3 0.88	3 0.88	0	2 0.87	1 0.64	2 1.29	0	4675 3.69	28 1.98	5770 4.55	
播種性クリプトコックス症			0	0	0	0	0	0	0	0	130	2	134	
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	82	0	124	
百日咳	—	—	83 5.87	75 21.98	3 0.88	0	0	4 2.56	1 0.65	0	5933 4.68	—	—	
風しん	○		2 0.14	1 0.29	0	1 0.69	0	0	0	0	496 0.39	0	93 0.07	
麻しん			0	0	0	0	0	0	0	0	204	1	189	
薬剤耐性アシネトバクター感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	28	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.02	

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php) へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

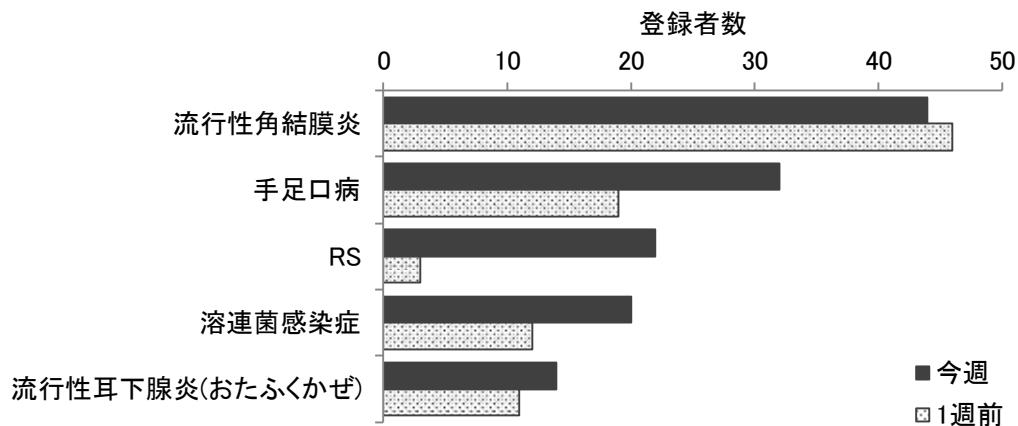


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸:登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」